

教科総務部資料

【新規団員が用意する費用について】

マラヤ大学予備教育センター A A J 教科総務部

赴任に際しての旅費や宿泊費などは、マラヤ大学の規定により支給されますが、来馬の準備や当初の生活のために自己負担金が必要となります。その概算を以下に示しますので参考にしてください。

なお、この中には、後に手当として支給されるものも含まれています。また、家族構成や車の購入、海外保険の加入の有無、また換金レートにより費用は異なりますので、ご注意ください。

1 必ずかかる費用 (90万~100万円)

(1) コンドミニアムの契約金等 65万円

団員が入居するコンドミニアムを確保するため、事前に契約をしておきます。その際、コンドミニアムの敷金や4月分家賃、保証金(家賃の約4割)、契約手数料、インターネット契約等で必要となる金額です。残金は来馬後に返金します。この65万円は1月下旬頃、副教科長宛てに海外送金をしてもらいますので、それまでに準備してください。保証金は、コンドミニアムの補修等が必要な場合はその費用に充当され、それを差し引いた残金がコンドミニアム解約時に返金されることになっています。

(2) 生活費(4,5月分)+家賃5月分 約30万~40万円

マラヤ大学からの給料や、文部科学省からの手当は例年5月下旬に振り込まれます(2024年度はマラヤ大学からの給料は6月に振込)。その間の生活費は自分で準備しておく必要があります。これは日本出発までに準備する費用になります。

※部屋代は住居手当として文部科学省から支給されます。(例年4月来馬の場合は5月以降)

2 必要に応じてかかる費用(個人により異なります)

(1) 自動車

新車購入の場合 120万円~250万円、リースの場合 5万円(保証金)+5万円(月額)

こちらで自家用車があると大変便利で、現団員はほぼ全員が所有しています。(購入の場合は帰国時に売却でき、新車の場合は例年使用2年で購入時の6割から8割の価格で売却しています。)

(2) 予防接種

渡航前に予防接種を受けることが推奨されています。(A型肝炎、B型肝炎、破傷風、日本脳炎等)種類、価格については、病院でご相談ください。(一人当たり)数万円~20万円

(3) 来馬用生活用品準備および常備薬等準備 数万円~10万円

(4) 海外旅行保険(1人当たり2年間) 30万円~40万円

この保険の加入は任意ですが、高額な医療費支出に備えて利用している団員もいます。保険会社が提携している病院では、日本語での受診やキャッシュレスサービスが利用できます。詳細は文部科学省の説明会で説明があります。費用は利用する保険会社や契約内容により調整できますので、保険会社に相談してみるとよいでしょう。

※ 海外旅行保険に加入しない場合でも、マラヤ大学の指定病院にて無料で受診することもできます(無料受診できない疾病もあります)。ただし、英語またはマレー語での問診となります。また、一般の病院でも、現役教員は所定の書類を提出することにより、帰国後に公立学校共済から約7割の還付を受けることができます。

(5) 教育費(クアラルンプール日本人学校の場合)

6月までに必要な経費は、入学金、授業料、スクールバス料金など (1人当たり)約50万円